

社会資本総合整備計画（防災・安全） 事後評価書（中間評価書）

平成29年3月29日

計画の名称	1 小野市における水環境の整備（防災・安全）								
計画の期間	平成23年度～平成26年度（4年間）		交付対象	小野市					
計画の目標	集中豪雨の多発に対して総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、古い蓋や管路の長寿命化を図り災害に強いまちづくりの推進								
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道による都市浸水対策の達成率を45%（H23）から50%（H26）に増加する。 コンクリート下水道管路の老朽度調査を0%（H23）を100%（H26）にする。 老朽化したマンホール蓋の交換を行い、安全を図る。 								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考			
			当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
①	下水道による都市浸水達成率（%） (概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha))/(都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))		45.0%	45.0%	50.0%				
②	コンクリート管の老朽度調査を実施し、改良を施すための計画を作成 調査延長（km）/調査必要延長（km）		0%	0%	100%				
③	長寿命化老朽化鉄蓋交換 鉄蓋交換済み数（枚）/交換必要箇所数（枚）		30%	100%	100%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	227百万円	A	227百万円	B	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.00%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
小野市水道部	H29.2 公表の方法 小野市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	小野市	直接	—	雨水	新設	第3排水区（雨水管1）	雨水管□1300*1000~1600*1600L=4.00m	小野市						10	
1-A1-2	下水道	一般	小野市	直接	—	雨水	新設	第4-2排水区（雨水管2）	雨水管□400*400~600*600L=380m	小野市						0	
1-A1-3	下水道	一般	小野市	直接	—	雨水	新設	第3排水区（雨水管3）	雨水管□500*500 L=200m	小野市						0	
1-A1-4	下水道	一般	小野市	直接	—	雨水	新設	第5排水区（雨水管4）	雨水管φ1100L=106m□1000*1100~1200*1300L=441m	小野市						175	
1-A1-5	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	改築	コンクリート管老朽化調査及び改築	老朽度調査コンクリート管φ250~1200 L=17.0km	小野市						34	
1-A1-6	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	改築	第8汚水幹線枝線鉄蓋交換（長寿命化）	鉄蓋交換260箇所（補助123箇所）	小野市						8	
合計（下水道事業）															227		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	計画・調査	一般	小野市	直接	—	管路のデータベース化	下水道長寿命化支援制度	管路情報のデータベース化	小野市						0	
														合計	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C1-1	管路情報のデータベース化基幹事業の管路改築のための点検調査結果を入力することにより改築計画の策定に当たり有益な情報となり、計画的な実施が可能となる。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 雨水管の新設工事を実施した結果、雨水の流れもスムーズとなり、浸水箇所が発生頻度が従前より低くなった。 コンクリート管の老朽化調査を実施した結果、現状管内状況が把握でき、今後の改修計画立案が可能となった。 鉄蓋交換を実施した結果、陥没や転落事故等を未然に防ぐことができた。 													
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水達成率）	最終目標値	50.00%	目標値と実績値に差が出た要因	工事箇所が狭小の上、地下埋設物が多くあり、雨水管を埋設する場所がなく、工法等再検討する必要が生じ、予定していた工事箇所が、H26年度中には完了できなくなったため。 詳細に調査した結果、老朽管調査に必要なコンクリート管の全体延長増加により、H26年度中には完了できなくなったため。 道路管理者が舗装をした箇所があり3年間舗装をさわれないことにより延期したため。										
		最終実績値	45.30%												
	指標②（コンクリート管の老朽度調査率）	最終目標値	100%												
		最終実績値	75.60%												
	指標③（鉄蓋交換率）	最終目標値	100%												
		最終実績値	85.00%												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															
3. 特記事項（今後の方針等）															
<ul style="list-style-type: none"> 今後の整備方針として、遅れている雨水整備の推進と今回調査で発見したコンクリート管の改築修繕を進めたい。 															

計画の名称	1 小野市における水環境の整備（防災・安全）	交付対象	小野市
計画の期間	平成23年度 ～ 平成26年度（4年間）		



凡 例	
	鉄蓋交換
	コンクリート管老朽度調査
	下水道による事業計画区域(汚水)
	行政区域界

計画の名称	1 小野市における水環境の整備 (防災・安全)		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成26年度 (4年間)	交付対象	小野市

